

○岩瀬地区タウンミーティング議事録

日 時：令和7年8月31日（日）

午前10時から11時50分

場 所：岩瀬カナル会館

出席者：36人

テーマ1 富山市の環境施策について

<主な説明事項>

- 1 ゼロカーボンに向けての取組み
- 2 家庭ごみの有料化に向けた基本的な考え方

【環境部の説明に対する質問】

・ごみの有料化によって、不法投棄の対策を検討していかなければならないと思います。他の地域等について、すでに導入されている取り組みとしてはどのようなものがありますか。

（環境部廃棄物対策課長）

不法投棄対策については、富山市でパトロールを行っています。特に、人目に付きづらいところに不法投棄される傾向があり、夜間や夕方の薄暗い時間帯に発生することが多いので、重点的にパトロールをして抑止しているところです。また各地区の取り組みについては、例えば、張り紙・ポスター等を使っているところや、カメラの設置を検討しているという事例も聞いています。

・私たちの町内のごみステーションでは、出してはいけないごみについて張り紙をして案内していますが、今一番問題になっているのは、ペットボトルについてです。

ペットボトルを出してはいけないと周知していますが、実際には出してあります。そうすると、町内の担当者がスーパー等の回収先へ代わりに持っていけば良いのだろうかという話になり、現在は燃やせるごみの収集の際に、代わりに出して引き取ってもらっています。しかし、ごみの収集の際に回収されず注意書きが貼られてしまう等、色々と問題になっています。

ごみステーションにはペットボトルを入れる袋を置いて、収集車が回収する方法にした方が良いのではないのでしょうか。お年寄りの中には、なかなかスーパー等に行けず、私たちの町内のごみステーションに置いていく人もいます。アパートの居住者が車で通る途中に置いて行くということもあります。

(環境部廃棄物対策課長)

有料化というのはごみを減らすためであり、現在でも燃やせるごみの中には、4割程度リサイクルできるものが含まれています。富山市としても、資源を分別して出していただくことによって、リサイクルを効率的に行っていきたいと考えております。

町内の方には色々なご負担をおかけしてご協力いただいておりますが、引き続き富山市でも啓発活動も一生懸命やってまいりたいと思っています。それでも不適正排出がある場合には、町内会の皆さんにご迷惑をおかけすることになりますから、町内会の経済的な負担がかからないように一定のボランティア用のごみ袋を町内会にあらかじめ配布して、ご協力いただけるならば、分別して排出いただければ大変ありがたいと考えております。

また、今後高齢化等でごみ出しすることがなかなか難しいという方もたくさん出てきますので、有料化のタイミングに合わせ、「高齢者等ごみ出し支援事業」を検討しています。ごみ出しが困難な方々はごみを玄関前まで出していただき、市の環境センター職員が、戸別に収集に回ることを検討しているところです。

・ごみ収集の職員の方が、朝の通勤ラッシュの中、大変な思いをして収集してられるのをよく見かけます。本当に可哀想なくらいだと思います。自分の場合は、ごみが軽いので自転車でごみステーションまで持って行きますが、大した距離でもないのに車に乗ってごみ出しをする人が結構いるようです。住民として、考えなければならぬと思っています。

(環境部廃棄物対策課長)

ごみステーションの場所については、地域の町内会と環境センターの方で相談しながら、適切な場所を決めています。現在の場所が色々なトラブルの原因になるということがあれば、個別にご相談いただき、適切な場所への移設について一緒に考えさせていただきたいと思っています。

・私は、生ごみ処理機を15年程度使っています。そろそろ寿命なので買い替えの時期だと思いますが、値段が結構高いと感じます。畑の肥料等、色々有効に使えます。富山市から何か補助金等を出して、燃やせるごみや生ごみを各家庭で処理するようにしたら、ごみが相当減るのではないかと思います。

(環境部廃棄物対策課長)

生ごみの乾燥機等につきましては、一時期から利用があまり盛んではなくなったことから、現在は補助金がありません。富山市としては、ダンボールコンポストやトートバック型のコンポスト等、電気を使わない形で生ごみを分解し、堆肥として畑等で使っていただくことを推奨しています。補助金の導入を再度検討して欲しいという声を多くお聞きしており、今後地域説明会もたくさん行っていく予定ですので、そのようなお声があれば、検討させていただきたいと考えております。

・ごみを有料化すると、ごみの排出量は実際に減るのでしょうか。日本で有料化が

すでに導入されているところがありますが、どれぐらいの効果があるのでしょうか。

(環境部廃棄物対策課長)

ごみの有料化については、手数料をいただくことだけが目的ではなく、住民の方のごみ出しや環境に対する意識を変えていただく1つのきっかけにさせていただきたいと考えています。有料化するだけでは、お金がかかるからごみを出すのを控えようかなと思う程度の効果しかないのですが、この機会に市民の皆さんが、将来世代に対してより良い環境を残していきたいという思いを強く持っていただければ、その効果が増すものと考えております。

先行他都市の例ですと、富山市の案のように1リットルにつき1円程度の手数料を徴収した場合、約10%から15%程度減量するという効果や実績が出ています。また富山市の場合、「燃やせるごみ」を「燃やすしかないごみ」という名前に変えたいと考えています。「燃やすしかないごみ」というのは、分別した上でやむを得ず、ごみとして出すしかないと判断した上でごみ出ししていただくことになります。名前を変えることによって、5%程度ごみが減るという報告もあります。

・太陽光パネルについてですが、15年から20年程度の耐久性だと聞いています。導入されるのは良いのですが、廃棄について問題があると思います。メーカーでの再利用を義務化することが検討されていましたが、義務化は断念される方針だと聞きました。そう考えると、かえってマイナスになるのではないかと思います。この問題について、富山市としてどのように考えているのかお聞きしたいです。

(環境部廃棄物対策課長)

太陽光パネルの再利用等については、国でも検討しなければならないということで色々と議論が交わされていると聞いております。耐用年数が20年から30年もつ場合もあり、一般家庭であれば10年程度の買取期間が終わった後もまだまだパネ

ルが使えますので、再度発電に利用していただき、ごみとして出さないことが必要だと思っております。また、排出時についても、東京都では補助金がありますし、資源として活用できるような内容を今後検討してまいりたいと考えています。

・外国人居住者がこの地区でも増えていると思います。外国人に対してのごみ出しの方法やマナーの説明について、どのように対応されていますか。

(環境部廃棄物対策課長)

外国人の方については、慣れない場所での生活であり文化も違いますので、ごみ出しのルール、特に分別が難しいと思います。技能実習のため日本で生活している外国人が最近特に増えています。会社の方では、実習生の方たちに日本での暮らし方についての講座を開くなど一生懸命指導しておられます。富山市からも、ごみ出しの支援について説明する機会が増えています。

また、ごみ出しに関するパンフレットは、現在7ヶ国語に翻訳してあり、外国人の方が理解できるような形で配布しています。もしごみ出しがなかなか分からない人がいらっしゃれば、担当所属に連絡していただければ、出前講座に出向いたり、パンフレットを配布したり、対応させていただきたいと思います。

・有料化は仕方ないかもしれませんが、1リットルにつき1円値上がりすると聞くと高く感じなくても、45リットルの袋が45円値上がりすると考えると、非常に高いと感じます。値上がりの金額の設定は、何を根拠にしているのでしょうか。「他の自治体が行っているから、1リットルにつき1円といえば安く感じるのではないか」というふうに聞こえます。もしごみが散乱している場合、現在ならば、私達は片付けてから自分達のごみ袋に入れて処分しています。しかし、ごみ袋が値上がりするならば、自分のごみ袋に入れて処分まではしないという対応になり、ごみが散らかったままになると思います。

(環境部廃棄物対策課長)

富山市と同等規模の中核市は 62 市あり、19 市でごみの有料化が導入されています。その平均が 1 リットルあたり大体 1.2 円程度で、富山市は平均より低く抑えていると考えています。なぜ 1 円かという、国の 3 分の 2 の自治体がすでに導入するという内容の説明があったと思いますが、あまり低い金額だと、減量の効果があまり期待できないということも考えられます。大体少なくとも 1 円程度でないと、せっかく導入しても効果があまり期待できないという結果がありましたので、1 円程度としています。

ご質問にもありましたが、ごみ出しについてのトラブルが今後想定されますので、地域の皆様にはボランティア袋というお金がかからない袋をあらかじめ配布したいと考えています。不適正排出があった場合、ごみそのまま残ることになり、地域の環境が悪くなってしまいます。ぜひボランティア袋に詰め替えていただき、適正な日に排出いただくご協力をお願いしたいと考えております。

(豊田校下自治振興会長)

① ごみ袋に入らないような大きさのごみについてお聞きします。庭木から出るものや、家を整理して出すもの等、大きなごみがあります。現在ですと、紐や縄で縛って一定の大きさにして出していると思いますが、ごみ袋に入りにくいようなものはどのように出せば良いのかお聞きしたいです。

② ごみ袋の値段についてですが、ごみの有料化によって現在の値段に上乗せされて 10 枚単位で買うならば、高額だと思います。1 リットルあたり 1 円程度が妥当と説明がありましたが、それだけ高くして本当にごみの減量に効果があるのでしょうか。確かに、全国平均よりも富山市のごみの量は若干多いです。ごみが減ったのは、有料化によってではなく人口が減ったからという話も聞いたことがあります。やはり色々分別をして減らしてきた経緯があると思います。有料化によってごみはある程度少しは減るかもしれませんが、現状すでに減ってきているので、もう少し

見極めても良いと思います。

(環境部廃棄物対策課長)

① 大きなごみの出し方については、例えば自転車等、袋の大きさを上回るようなものについては、もったいないですが、例えば 45 リットルの袋を縛りつけて出してもらう方法を考えています。シールを貼る方式にするか等、今後検討させていただきたいと思います。

② ごみ袋の値段は、現在は大体 45 リットルについて 1 枚 10 円程度で市販されていると思いますが、有料化したら、ごみ袋は皆様からいただく手数料で富山市が作りますので、45 リットルの袋であれば、お店で支払う金額は 45 円であり、現時点では、現在の値段に上乗せするやり方にはしない考えです。

(市長)

ごみの有料化は、減量化のために有料にするという議論の場合、皆さんにはなかなか理解できないところがあると思います。地球や地域に環境ダメージを与えないという面では、減量化が非常に大事であり、まさに正論なので、理解をいただきたいと思います。

ごみの焼却システムは、無料では成り立たなくなっています。富山市は、滑川市、立山町、上市町、舟橋村と一緒に広域圏でやっていますが、もう有料化しないと、財政がもたないということです。今我々のごみを処理しながら、将来の子どもたちにつけを回すことになります。これはもう明らかなことであり、自治振興会や町内会の皆さんとしっかり話をしていくために、私からも丁寧に伝えていきたいと思います。この点はきちんと対応していかないと、将来富山市の行政ももたないし、ごみの行政ももたないということになります。実際、有料化していない近隣市の市町村、特に地方都市では、もうごみの焼却炉を作ることができないというところがたくさん出てきています。

ごみの有料化については、持続可能性を高めていき、将来にわたって安心な富山市、富山地区広域圏、富山県、北陸を作っていくため、自分達が出したごみについて負担するというふうに考えていただければ良いのではないかと思います。

腑に落ちない市民の方がたくさんいらっしゃると思いますので、今後環境部が中心になって、説明会やミーティングを行っていきますし、広報誌や市ホームページでも発信していきます。ご意見があれば、どんどん伝えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

テーマ2 富山市の農水産業の振興施策について

<主な説明事項>

- 1 農業の振興について
- 2 水産業の振興について
- 3 新規事業について
- 4 漁港施策等の復旧状況について

【農林水産部の説明に対する質問】

・白エビについて、漁業として成り立つ地域は、世界の中で富山湾のみだそうです。能登半島地震によって白エビの漁獲量が減り、国や富山県や大学等で調査されたようですが、私は、富山湾には白エビが生息していて、地震によって移動してしまっているのではないかと考えています。ぜひ今後も、富山県や富山市で白エビについて力を入れて取り組んでほしいです。

(市長)

白エビは、まさに富山湾の宝石ですので、しっかりと支援を行い、国や県と情報交換しながら、白エビ・ホタルイカ・ベニズワイガニ等、富山県の魚種が生息しているように取り組んでまいりたいと思います。

(豊田校下自治振興会長)

豊田校区は、昔は農村地帯で、その後新興住宅地になり、家がたくさん建っていますが、小さな水田が近隣にたくさんあります。農地が大規模化されてこなかった場所であり、市街化地域や調整区域でもありません。小さな水田は、現在、草木が生えている状態です。大きな農家や大きな水田の場合、そのようなところはあまりないと思います。将来は住宅ができるかもしれませんが、人口減少が進んでいるので、あまり期待できないと思います。住宅に近い場所の農地について、どのような対応を考えているかお聞きしたいです。

(農林水産部次長)

調整区域の農地については、地元の農業について今後 10 年後どうあるべきか、皆さんで考えていただきながら地域計画を作成していただき、行政の方も支援するという形で進めております。調整区域内については拡大が難しいことや後継者がいないということがあります。今年 3 月には市内 35 ヶ所で地域計画を作っており、皆さんとコミュニケーションとりながら、10 年後のあるべき姿を考えていきたいと思っています。行政ばかりでは農業はできませんので、農家や地域の皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

・私の父は 90 歳を超えていますが田んぼを持っていて、周りを見渡しても、今ご指摘があった通り、休耕田がたくさんあります。このような状態になったら、一体どうすればいいのでしょうか。営農に申し入れる方法や、近所の人に頼む方法があると思いますが、営農があっても断られる場合もあると思います。富山市へ申請する体制を作る等、とりまとめてもらうことはできないのでしょうか。

(農林水産部次長)

お父様が一生懸命頑張って守ってこられた農地については、皆さんの財産ですか

ら、誰が後継者になるのか、まずは家族内で話し合ってもらうことが第一前提になります。その次に、生産組合を通して地域内で調整をすることになります。現在、担い手として認定農業者が350人ほどいらっしゃいます。先ほどご説明した地域計画というのは、地域の中で誰が担い手となって農地を担っていくかということについて話し合うものです。来年どうするか等決めていかないと、木が生えてしまったり動物の棲みかになってしまったりします。他人事ではないと思っておりますので、今後どうするか皆さんと一緒に話を進めていきたいと思っています。

新規就農者として、若い農業者も10人ほど入ってきています。若い農家は、儲からないと農業を進めていけませんし、作業するにも人員が必要です。国や富山市では、機械化・自動化といったスマート農業を進めており、少しでも若手が入ってきてもらえるようにと思っています。

米の値段については、令和5年産までは、1俵あたり1万4000円でしたが、令和7年産は1俵あたり2万6000円で、倍ほどになってきています。生産費は、1俵あたり1万5000円ほどかかります。年々、機械代・肥料代・人件費が上がってきており、農家からすれば、儲からなければやらないというのが第一前提になってきています。儲かるようにするには、少しでも地域内で若手を作っていくことと、スマート農業により少しでも省力化することが大事だと思います。それによって、大区画になっていくことにつながると思います。人口減少の中で、農業をする方が少なくなっていますので、地域の皆さんと一緒に話を進めながら、あるべき姿を目指していきたいと思っております。

・富山市での白エビやズワイガニが不漁のため、新湊についての報道ばかり目にしており、残念に思っています。滑川のホタルイカ、魚津のカワハギ、高岡の万葉かれい等について聞いたことがありますが、岩瀬の白エビについて知らない人も多いと思うので、もっとPRしたら良いと思います。

(市長)

おっしゃる通りだと思います。発信の仕方が大事だと思います。富山市でも魚種が豊富に獲れますし、しかも漁獲量も多いですから、しっかりとPRしていきたいと思います。

・私も田んぼを持っており、農協の下請けの営農にお願いしています。そろそろ20年になりますが、土地改良や税金等、全て自分で支払っています。田んぼを作っている農協の下請けの方からは、一円ももらえません。20年以上支払うと、何十万円という金額になります。米を少し安く分けてもらっていますが、農協に出されるよりは高く買っています。地主と営農をする方について、今後は経済的にどのようなになっていくのでしょうか。支払っていくのが大変なので、市の方で何か対応を考えてもらえないでしょうか。

(市長)

さきほど職員からの説明にもありましたが、農地はご自身の財産であり、個人に帰属しているものなので、国や市は介入できない立場だということを前提にお話します。

富山県内・富山市内でも、都心部では、お金を払ってでも米を代わりに作ってもらっているところがあります。無償で農地を管理してもらい米を作ってもらう代わりに、地主の負担がないというところもあります。20～30年前ですと、地主がお金をもらって農地を貸していた時代もありました。時代の変遷とともに状況が変わり、現在は地主が手出しするという時代になっています。米価が上がらないと、収支均衡にならないので、今の状態はしばらく続くかもしれないと思っています。

地主さんと耕作者との話し合いで決まっていきますので、我々市が介入するわけにいかないのですが、その地域の相場等が関係してくると思います。個人の所有物に対して公の立場からは言えないという状況で金銭の支払いが発生していること

をご理解いただきたいと思います。米価が安定するように国に要望したいと思います。

(農林水産部次長)

米の値段が倍ほどに上がってきていますので、小作料が少し発生するのではないかと考えています。40 年前ほどは、1 俵あたり 2 万 3000 円ほどでしたが、ここ数年は 1 俵あたり 1 万 3000 円ほどで、生産費が 1 万 5000 円ですので、大体 1 俵あたり 3000 円つけてお客さんにお渡しする時代でした。去年ぐらいから米価が上がり、今後小作料として、土地改良、水管理代等、地主さんの方に少し入ってくるのではないかと考えております。農業委員会、農林水産部でも担い手の斡旋も含めて調整させていただきますので、ご相談いただければ対応していきたいと思います。

【その他意見交換】

・岩瀬の海岸の風景についてお願いがあります。人工物が少なく素晴らしい風景なので、とても自慢できることだと思います。今後、もし高い建物等が建築されてしまうと、自然豊かな風景が損なわれてしまいます。富山市で何か宣言をする等、この風景を守ることができる環境にしてほしいです。

(市長)

建物の高さ・容積等の開発については、富山高岡広域圏の都市計画によって土地の用途が決まっていますので、建てる場所と建てない場所は色々な用途によって違います。また、富山市の場合は、中心市街地を中心に、看板の高さや大きさの制限等に関する条例があり、独自に宣言することもできますが、基本的には法律が優先されることをご理解いただきたいと思います。風光明媚な場所ですので、こういった風景を守っていくことは非常に大事だと思います。

・空き家に関して市から配布されている案内には、「空き家の管理は所有者の責任です」という内容や、「隣の敷地に伸びた枝があっても、所有者以外の人が勝手に切ることはできません。周囲に迷惑をかけないように、所有者がしっかりと撤去してください。」という内容の記載があります。しかし、町内では空き家の管理が放棄され、枝が伸びても放置されています。町内として、どのように対応したら良いのでしょうか。

市役所へ問い合わせたら、「空き家の持ち主の情報は分かっているが、個人情報のため開示できない」と言われました。町内として、写真を添付した要望書を出したところ、持ち主に送付すると言われ、市役所からも、実際に確認してから持ち主に文書を送付するとのことでした。市役所からは「3か月間猶予をみてください」と言われましたが、そんなに待たなければならないのでしょうか。枝が伸びてきているということは、電線に接触したり、落ち葉が堆積して自然発火したりする恐れもありますし、町内にはとても心配している人もいます。

(市長)

ご指摘の通り、現在空き家の問題が深刻になっています。現在、空き家は1万件に近づいてるのではないかと考えています。放置された空き家が結構な数に増え、市の方では全く追いつかないのですが、法律上許された行政代執行などの手続きをしています。年間に2件前後について、市が主導で平地にしています。どれだけ頑張っても年間に3件程度です。

法律上の問題もあります。住民の方も法律がおかしいと思うかもしれませんが、個人の所有財産ですので、行政は所定の手続きを踏まないと触れることができず、富山市が訴えられることになります。悔しいことですが、周辺の住民が木を切ろうとすると、個人の財産を侵害したということで訴えられる可能性があります。空き家対策について、富山市としては、皆さんの声を真摯に聞き、丁寧に対応していきたいと思っています。またご意見ありましたら教えていただきたいと思います。対

応にあたり難しい点があることは、ご理解いただきたいと思います。

・東蓮町では、能登半島地震によって液状化が起きましたが、市長をはじめ関係の皆様から多大な支援をいただき本当にお礼を申し上げたいと思います。液状化対策の事業に関しては、地元負担がないように要望を出してきたところ、設備更新費については県と市で折半して支援するという方針が発表され、大変嬉しく思っています。

電気料等の設備維持管理費については、それぐらい地元負担すれば良いという意見もあると思いますが、負担できるような状況ではありません。移転している方や高齢者の方もいらっしゃいます。ぜひ今後も、地元の負担がないように、支援をお願いしたいです。

(市長)

発災以来、地元の皆さんは大変なご苦労されており、改めてお見舞い申し上げます。私も新田知事と一緒に何度か足を運び、国から心配して見に来られる方の案内もしてきました。地元の市議会議員の皆さんも熱心に取り組んでおられます。

氷見市、高岡市、射水市、富山市、滑川市の5つの市が、液状化対策をやろうとしています。それぞれ面積や規模は違いますが、住民負担の割合は足並みを揃えて統一し、限りなくゼロに近づけようと県知事や5つの市も同様に考えています。その上で、(維持管理費の住民負担を軽減するために、)もう少し良い方法はないのかを国に要望しています。近いうちに、町内に伺うことがあるかと思いますので、よろしくお願いします。富山県内で、住民負担についての対応が隣の市と違うのは変だと思いますので、一生懸命対応したいと思っています。

・東蓮町の液状化は、町内のほんの一部の範囲で起きていますが、地下水位低下工法の工事の関係上、被害がなかったところも工事の範囲に入ってしまう。その

範囲の住民に対して、維持費を払ってくださいということは、住民の方が納得しないと思います。維持費も含めてゼロにしないと、住民の理解が得られず、工事自体に着手できないということをきちんと考えていただいた上で、対応を進めていただきたいと思います。

(市長)

住民負担をゼロにするということは、今日ここにいらっしゃる皆さんの税金も投入することになりますので、丁寧に進めていかなければ、後世が大変なことになります。今後、富山県全体が液状化する等の大規模な災害が起きた時、以前はタダだったのに今回はタダではないのかという話になりますし、あらゆる可能性を確認しながら、限りなくゼロに近づけるように考えていますので、今おっしゃった意見を肝に銘じて進めていきたいと思っています。

・私は岩瀬に住んでいますが、家の周りには空き家が多くあります。銀行が撤退し、本屋もなくなるそうで、岩瀬の衰退は目に見えてきているように感じます。富山駅からライトレールに乗ると、県外や海外からのお客様も岩瀬へ来ていただいているようです。ところが、岩瀬には夜に予約が必要で高額なお店が多く、昼間は通りを歩くだけになるそうで、住民もそう感じていると思います。

岩瀬は古い町並みも良いですが、もっと海を活かしても良いと思います。岩瀬の港は、昔は魚釣りができましたが、現在は昔ほど近づくことができないようです。展望台は100段ほどの階段を上らなくてはならず、岩瀬の建物は全体的に古いもののばかりです。八重津浜、海老江、海王丸パーク等は、海のそばまで駐車場で近づけるようになっており、アクセスが便利です。

富山駅の観光案内所で、岩瀬の観光パンフレットを見ましたが、分かりづらく内容が古いようです。富山市のパンフレットについては、市民にあまり知られていない気がします。金沢駅に行くと、石川県内のパンフレットがたくさん並んでいるの

ですが、富山市には立派なパンフレットがあるのにもったいないと思います。

(市長)

たくさんご意見をいただきありがとうございます。十分参考にさせていただきます。

・民生委員の選出についてお聞きします。自治振興会を通して町内の方に新任の民生委員を選出するようにという要請がきており、何人にも声をかけていますが、なかなか了承してもらえません。民生委員は、手当がなく、特別職の地方公務員で、個人情報の取り扱いについても注意が必要であり、年齢制限もあると思います。説明しても、ほとんど了解してもらえないという状況が続いております。どのように対応したらよいのでしょうか。

(市長)

民生委員児童委員の皆さんには本当に頭が下がりますし、選出も含めてお世話していただいている自治振興会や町内の皆さんには、心から感謝申し上げます。民生委員児童委員制度ができてから長年経っていますが、その方々が地域にいらっしゃるおかげで、高齢者やひとり親世帯の方等は、地域でしっかり生活ができていますので、大事な仕事だと思います。

高齢化が進んでおり、今年は改選の時期ですので、なり手がいらっしゃらないという声をあちこちで聞きます。地域にいらっしゃらないと、地域の安全や色々なことが脅かされていきますし、地元の方に頼るしかないので、ご推薦いただきたいと思います。

民生委員児童委員制度は国の制度ですので、費用弁償しかなく、ボランティアです。実費でかかる費用について弁済させていただくという制度です。少子超高齢化の時代になり、この制度が変わりつつあると聞いていますが、制度を作っている国

の方に皆さんの声をしっかり伝えたいと思います。富山市としても、一生懸命サポートさせていただきたいと思っています。

(萩浦地区自治振興会長)

・萩浦地区センターの建て替えの件でお願いがあります。富山市内で新しく建て替えられてない地区センターは31か所あり、萩浦地区センターは、古さでいうと22番目とのことです。現在、古さ順で建て替えをするのではなく、建て替える土地があるところから優先して建て替えをしていると聞ききました。

萩浦地区センターは、萩浦小学校の敷地内に間借りして建てられています。駐車場は全くありません。2階建てのため、高齢者が多い時代には使いづらいです。また、図書館の分館もないので、大広田や岩瀬の分館で本を借りていますし、不便な状態です。

隣の北交番署の地面を使って建て替えさせてもらえないかということを警察と話をしましたし、富山県議会でも取り上げてもらっています。富山市としてもバックアップしていただき、なるべく早く地区センターの建て替えができるようお願いしたいです。

(市長)

要望として受けとめました。

※発言の一部を整理して掲載しています。(広報課)